

価値創造プロセス

昭和産業グループの強みである「穀物の専門性」をあらゆる角度から生かすことで、 ユーザーが求める「おいしい答え」=「穀物ソリューション」を提供します。

事業を 取り巻く 環境

グループ経営理念

"人々の健康で豊かな 食生活に貢献する"

長期ビジョン

全てのステークホルダーに 満足を提供する 「穀物ソリューション・カンパニー Next Stage"

貸詳しくはP.35

INPUT

「**な**詳しくはP.27

製造資本

- 穀物サイロ保管能力 36.5万t(昭和産業 単体)
- 昭和産業グループ独自の 一貫生産
- シェア拡大に伴う生産能力 増強

知的資本

- 様々なお客様との対話から築 いたマーケティング力
- 多種の食品素材、技術、 ノウハウを組み合わせた研究 開発力
- 研究開発費 28億円

人的資本

- グループ従業員数 2,861名
- 穀物に精通する人財

社会・関係資本

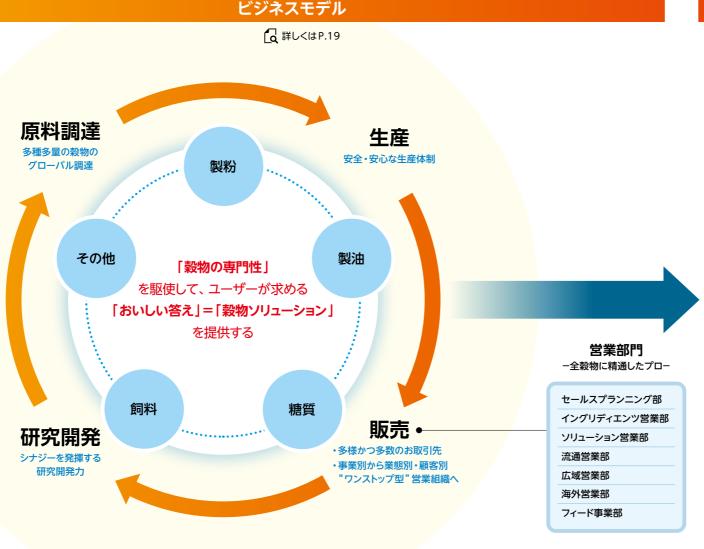
- 多様かつ多数のお取引先との
- 地域と連携しての食育活動

自然資本

- 穀物使用量 2,249千t
- 総エネルギー投入量 (原油換算) 175千kL
- 水資源使用量 12,450千t

財務資本

- 総資産額 2,555億円
- 中期経営計画(2023~2025年度)期間 キャッシュイン総額800億円 営業キャッシュ・フロー 700 億円 成長投資330億円 維持·更新投資290億円



持続可能な企業成長を支える基盤

ステークホルダー コーポレート・ リスクマネジメント エンゲージメント ガバナンス **|** 詳しくは P.61 **|** 詳しくはP.65 **|** 詳しくはP.71

コンプライアンス

貸 詳しくはP.73

OUTPUT

家庭用 ホットケーキミックス 国内シェア

市場

No.1

結晶ぶどう糖

(食用・医療用) 国内シェア No.1

財務

経常利益 135億円

> 配当性向 28.1%

> > 環境

CO₂排出量

31.1%削減

(2013年度比)*1

99.9%

食品ロス削減量

33.2%削減

(2018年度比)*2

高付加価値な 加工食品

多種多様な食品素材

(一次加工品)



穀物加工の副産物を 使用した飼料

マテリアリティ

課題解決への貢献

OUTCOME

貸 詳しくはP.29

1. 食を通じた事業活動 での貢献

金金・安心で高品質な 食の提供

消費者の健康と 多様化するニーズへの貢献

2. 穀物を生み出す大地と その環境の維持

3 地球環境への配慮

3. ステークホルダーとの エンゲージメント推進

4 人財活用

5 地域社会との共生

り サプライチェーンと連携した 活動

7 ステークホルダーとの信頼関係構築

- ※2 対象:昭和産業および食品ロス発生量が100t/年以上のグループ会社(昭和産業、スウィングベーカリー、グランソールベーカリー、 ガーデンベーカリー、タワーベーカリー、昭和冷凍食品の6社)

食品リサイクル率 (詳しくは

P.5、P.20

※1 対象:28社(昭和産業および連結子会社)

25 昭和産業グループ 統合報告書 2025